

4月の新刊

ふくみみ  
Fukumimi  
1973.4 No.129

まだ寒い日が続きますが、ふくみみでは福会館書店創立70周年記念出版の復刊や、科学絵本、『落語少年サダキチ』の新刊などを盛り込んだような絵本をご用意します。



ふくみみでは、1973年4月号から、2023年4月号まで、70周年記念出版の復刊や、科学絵本、『落語少年サダキチ』の新刊などを盛り込んだような絵本をご用意します。

ふくみみでは、1973年4月号から、2023年4月号まで、70周年記念出版の復刊や、科学絵本、『落語少年サダキチ』の新刊などを盛り込んだような絵本をご用意します。

4月の新刊

アリは軍隊や隊列して暮らす動物です。軍の中の第一線の戦士から、兵隊や小さな卒の犬や虫まで幅広い生き物です。

『アリのかぞく』

社会性をとらえた絵本

アリのかぞく 大島由美子

アリは軍隊や隊列して暮らす動物です。軍の中の第一線の戦士から、兵隊や小さな卒の犬や虫まで幅広い生き物です。

70th 福会館書店

次「100」

福会館書店は2022年2月に創立70周年を迎えます。累計100万部を超えるロングセラーとともに、新しい人気作品——ロングセラーの懸念もまわっています。そんな新しい人気作品やみどころ編集部から次々の作品の魅力をお届けする連載です。

赤ちゃんも大人も楽しい

「ペンぎんたいそう」 藤原 雅夫 著  
2019年刊行（2と3のちびもも1と2）2019年10月号

こどものとも第二編解説

『ペンぎん』の魅力は伝えることと『赤ちゃんが身体を動かす楽しみ』が、藤原様さんの笑いで、それでいて愛嬌のある絵によって高いレベルで実現していることが、当社の選定理由にはなっています。制作中は、全編で藤原さんと東原に身体を動かしてもらいながら作りました。途中、東原の赤き夏着、黒糸、黒線、控で組みましたが、黄色にして良かったです。目安は1歳半からですが、少し早めに購入しても成長するにつれて楽しめる絵が増えていくのが、赤ちゃんも大人ももちろん、読むのが大人も楽しい作品です。

書店さま向けwebセミナーのご案内

2023年2月10日(水) 14:00~15:00

https://youtu.be/unBF9N594Vs

4月の新刊

あなたの好きなこどものとも 0.1.2.

1. 2023年2月10日(水) 14:00~15:00

2. 2023年2月10日(水) 14:00~15:00

2月1日~3月31日まで

4月の新刊

『落語少年サダキチ(よん)』

落語少年サダキチ 藤原 雅夫 著  
2019年刊行（2と3のちびもも1と2）2019年10月号

「サダキチ」

落語少年サダキチの魅力を伝えることと『赤ちゃんが身体を動かす楽しみ』が、藤原様さんの笑いで、それでいて愛嬌のある絵によって高いレベルで実現していることが、当社の選定理由にはなっています。制作中は、全編で藤原さんと東原に身体を動かしてもらいながら作りました。途中、東原の赤き夏着、黒糸、黒線、控で組みましたが、黄色にして良かったです。目安は1歳半からですが、少し早めに購入しても成長するにつれて楽しめる絵が増えていくのが、赤ちゃんも大人ももちろん、読むのが大人も楽しい作品です。

4月の新刊

『草のふえをならしたら』

草のふえをならしたら 竹正 洋子 著

その音色がひきおこすひとときのファンタジー

植物に息をふきこんで生まれる小さな音楽・草葉その音色がひきおこすひとときのファンタジー

2月1日~3月31日まで



**「へんしん」**  
すがたをかえるイセムシ

著者 田中幸子 絵師 藤田 洋上 文芸

本体価格 1400円 サイズ 27×20センチ 頁数 48  
 発行年 1981年 12月 1刷発行 2012年 12月 1刷発行  
 定価(ハードカバー) 1000円 定価(紙) 480円

タマゴから生まれたイセムシは、幼虫時代、  
 すがたになって、それから……。藤田幸子  
 の「へんしん」を美しい絵で描きます。

タマゴから  
 チョウまでの  
 劇的な変化を  
 浮世絵を思わせる  
 美しい絵で伝える

永遠の命が得られる水を巡る王子の冒険をファンタジックに描く



プラトゥアロの冒険  
**「いのちの水」**

著者 プラトゥアロ 絵師 マーリン・バウメルク

本体価格 1300円 サイズ 27×20センチ 頁数 40  
 発行年 1981年 12月 1刷発行 2012年 12月 1刷発行  
 定価(ハードカバー) 1000円 定価(紙) 480円

永遠の命をもたらす奇跡の水を探そうやうな  
 水を得るものの、死に奪われます。失われた王  
 子を探したのはい、ファンタジックな冒険。



**「ちいさなたいこ」**

著者 プラトゥアロ 絵師 マーリン・バウメルク

本体価格 1000円 サイズ 20×27センチ  
 頁数 32 対象年齢 4歳～  
 シリーズ名 こどものとも

おぼろから生まれた王子と魔法の南瓜について  
 の、昔話と冒険の物語。魔法の力で南瓜を人  
 形に変えて連れて行く。



東京子ども図書館  
 共同企画復刊セット(8冊)  
 「いま、この本をふたたび子ども手に」

『東京子ども図書館共同企画復刊セット(8冊)』  
**いま、この本を  
 ふたたび子ども手に!**

東京子ども図書館が2012年から3年間にわたり実施した、手に入らない本の復刊希望を募るキャンペーン「いま、この本をふたたび子ども手に」での、投票結果をもとに選定した復刊8冊のセットです。いずれも読者の熱い支持がありながら、長らく高値となっていた作品をお届けします。



**「おぼけのジョージ」**

著者 ロバート・プワイティ 絵師 光岡 秀次

本体価格 1100円 サイズ 20×25センチ  
 発行年 1981年 12月 1刷発行 2012年 12月 1刷発行  
 定価(ハードカバー) 1000円 定価(紙) 480円

冒険作家ロバートプワイティのジョージは、毎晩  
 目撃した怪談の話を聞かされて、気が狂い、そ  
 の結果に閉じこもるのだった。



**「かまきりのちんちん」**

著者 木口 武久

本体価格 900円 サイズ 20×27センチ  
 発行年 1981年 12月 1刷発行 2012年 12月 1刷発行  
 定価(ハードカバー) 800円 定価(紙) 400円

植物を愛する、昆虫好き、木口武久の描く  
 自然の観察日記が描いた。虫の習性や生態  
 について詳しく描かれている。



**「きんいろのしかバングラデッシュの国」**

著者 ジャウォチ・チャッタジー 絵師 石井 祐子

本体価格 1500円 サイズ 27×21センチ  
 発行年 1981年 12月 1刷発行 2012年 12月 1刷発行  
 定価(ハードカバー) 1300円 定価(紙) 650円

金毛の鹿を飼うことが出来た少年は、金毛の鹿  
 とは？の謎が解かれます。金毛の鹿を  
 手に入れたらどうなるのでしょうか……



**「クリスマスのうさぎさん」**

著者 ウォルとニコラス 絵師 れんな ぼり

本体価格 1000円 サイズ 20×20センチ  
 発行年 1981年 12月 1刷発行 2012年 12月 1刷発行  
 定価(ハードカバー) 800円 定価(紙) 400円

クリスマスが来るまで待つのが辛い。お  
 礼の品をもらって、クリスマスから  
 プレゼントをもらいました。



**「ちいさなたいこ」**

著者 プラトゥアロ 絵師 マーリン・バウメルク

本体価格 1000円 サイズ 20×27センチ  
 頁数 32 対象年齢 4歳～  
 シリーズ名 こどものとも

おぼろから生まれた王子と魔法の南瓜について  
 の、昔話と冒険の物語。魔法の力で南瓜を人  
 形に変えて連れて行く。



**「へそもち」**

著者 木口 武久

本体価格 900円 サイズ 20×27センチ  
 発行年 1981年 12月 1刷発行 2012年 12月 1刷発行  
 定価(ハードカバー) 800円 定価(紙) 400円

美しいおにぎりにおもしろい、種々雑多な  
 人間生活が描かれています。読者から  
 好評を博して大ベストセラーです。



**「ママ、ママ、おなががいたいよ」**

著者 マミ マミ 絵師 パートン・クーパー

本体価格 1000円 サイズ 20×20センチ  
 発行年 1981年 12月 1刷発行 2012年 12月 1刷発行  
 定価(ハードカバー) 800円 定価(紙) 400円

おぼろから生まれた王子と魔法の南瓜について  
 の、昔話と冒険の物語。魔法の力で南瓜を人  
 形に変えて連れて行く。



**「よるのびょうりん」**

著者 夜更 文子 絵師 藤野 洋子

本体価格 900円 サイズ 20×27センチ  
 発行年 1981年 12月 1刷発行 2012年 12月 1刷発行  
 定価(ハードカバー) 800円 定価(紙) 400円

夜更で働くおにぎりにおもしろい、種々雑多な  
 人間生活が描かれています。読者から  
 好評を博して大ベストセラーです。



えんどうまめばあさんと  
 そらまめじいさんの  
 いそがしい毎日



マツコトコ  
 はあんなに  
 楽しそうに  
 食べている  
 なんて  
 びっくり

東京子ども図書館の設立に携わった翻訳家松岡享子さんが語る  
**ユーモアあふれるお話**

松岡享子さんの  
 ユーモアあふれる  
 翻訳家としての  
 経歴をお話します。



**東京子ども図書館について**

東京子ども図書館は、1981年に設立された、児童書を中心とした図書館です。児童書の収集・保存・普及に努めています。また、児童書の翻訳・出版にも取り組んでいます。松岡享子さんは、児童書の翻訳家として、多くの児童書を翻訳されています。